

# 妊婦健康診査未受診妊産婦をめぐる 研究の動向と課題

—— 周産期医療を組み込んだ子育てハイリスク群  
支援ネットワークの実践モデル構築に向けて ——

井上寿美 (関西福祉大学社会福祉学部)

## Precedent Studies on Pregnant Women who did not Receive Adequate Prenatal Care

Hisami INOUE (Kansai University of Social Welfare)

### 抄 録

周産期医療を組み込んだ子育てハイリスク群支援ネットワークの実践モデルを構築するための基礎的研究として、「未受診妊婦」「未受診妊産婦」「妊婦健康診査未受診者」をめぐる先行研究の動向と課題を、「飛び込み分娩」をめぐるそれと比較しながら明らかにした。妊婦健康診査未受診妊産婦をめぐる研究と飛び込み分娩をめぐる研究は同様の傾向にあった。今後は、いずれの研究においても、当事者の声に耳を傾け、生活者としての妊産婦の実態に迫る必要がある。なぜなら、飛び込み分娩や妊婦健康診査未受診妊産婦による分娩の問題を生まれてくる子どもの側からとらえた場合、被支援者に応じた「退院後の育児支援」についても議論を深めることが大切だと考えるからである。

キーワード：妊婦健康診査未受診妊産婦，周産期医療，飛び込み分娩